

車線分離標取替工 作業手順

	内 容	留 意 事 項	危険性・有害性の洗い出し	重篤度	可能性の 度合	リスク評 価	優先度	リスク低減措置
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業打ち合わせ(KY活動) 作業内容、人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検 埋設物の有無の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 安全品質作業指示書による 指示書の内容確認 日常点検の実施 通信管路図の確認(図面通りの施工か、現地にて確認) 	<ul style="list-style-type: none"> 図面と現地との不整合 	3	2	5	Ⅲ	・現地と図面を照し合わせる
車線分離標の撤去	<ul style="list-style-type: none"> 既設縁石の撤去 チッパー等を使用して床材を取り壊し撤去する 	<ul style="list-style-type: none"> 打撃工具を使用する場合は振動障害防止の為に防振手袋を使用し、人員交代をして長時間の連続作業を避ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 打撃工具での振動障害 	3	1	4	Ⅱ	・日振動曝露量の把握 ・保護具の着用
発生材の片付け	<ul style="list-style-type: none"> 撤去した車線分離標を運搬車両へ積み込む 適宜処理施設へ運搬し適切に処分する 	<ul style="list-style-type: none"> 積み込みの際、手を挟んだり、落下させて足を負傷しないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 手足はさまれ 荷台からの落下 	2 3	2 2	4 5	Ⅱ Ⅲ	・荷の下ろし先の状況確認 ・昇降中に物を持たない
アンカー削孔	<ul style="list-style-type: none"> 削岩機にて所定の位置、深さに削孔する 	<ul style="list-style-type: none"> 削孔粉が目に入る為保護メガネを着用する。 土工部掘削の場合は、埋設ケーブル等に十分注意し掘削を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 手足はさまれ 	4	2	6	Ⅲ	・保護具着用
接着剤充填	<ul style="list-style-type: none"> 掃除機を使用し削孔箇所を清掃する 所定使用量の接着剤を削孔箇所に注入する 	<ul style="list-style-type: none"> 舗装表面であるため、付着増強剤等の材料を選定使用する 接着剤を取り扱う際は、目や皮膚に付着すると炎症を起こしたりするため、保護具を装備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質による健康被害 	3	1	4	Ⅱ	・保護具着用
車線分離標設置	<ul style="list-style-type: none"> 車線分離標を設置する 前後既設車線分離標と高さ等を合わせる 							
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具、機材、余った材料を片付け、最後に竹ぼうきで清掃する。 終礼の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具、材料等忘れ物が無いように確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 荷台の片づけ 	3	2	5	Ⅲ	・昇降中に物を持たない

注意事項

- ・重量物は、足などへの落下に十分注意をする。
- ・埋設物の確認は必ず行い、立ち会い確認を受ける。
- ・重量物を持つ場合は、姿勢に充分注意をし無理をしない。
- ・化学物質による災害を防止するため、取扱書やSDSにより対処方法を確認しておく。
- ・車両移動の際は必ず誘導を実施する。誘導者は特に、停止位置を事前に知っておく必要があり、運転者は特に、誘導者の合図・姿が確認できなくなった時点で速やかに停止する必要がある。
- ・セメントを多用するため、粉塵の吸引に注意する。